

政治の私物化

憲法の私物化

安倍政権に レッドカードを



「共謀罪」強行採決許さない 安倍政権の横暴に審判を

憲法違反の「共謀罪」法案の強行採決に、国民の怒りはおさまりません。世論調査で約8割の国民が「説明不足」と答え、国連からも強い懸念が示されていた、問題点山積の「共謀罪」法案。自民・公明・維新は一方的に審議を打ち切り、参議院法務委員会の採決抜きで、強行採決しました。心の中を監視して処罰する民主主義破壊の「共謀罪」を、ここまで議会のルールを無視して強行するなど、前代未聞の暴挙です。

自民党国会議員の暴言・失言も止まりません。安倍政権は、もうポロポロ。政権をにう資格はありません。

安倍夫妻が関わっていた森友学園に国有地が法外に値引きされた「森友疑惑」。首相の「腹心の友」が理事長をつとめる加計学園だけに獣医学部新設が52年ぶりに認められ、税金133億円が投入される「加計疑惑」。安倍首相の「ご意向」で行政が歪められてはなりません。証拠文書の存在は次々と明らかになっています。まともな調査や証人喚問なしの幕引きは許されません。「政治の私物化」を許さない国民の声が、安倍政権を追い詰めています。徹底究明を求めましょう。

「うやむやにするな
森友・加計疑惑」
徹底究明を

9条改憲への暴走にストップ！

5月3日、安倍首相は「2020年を新しい憲法を施行する年にしたい」と改憲派の集会にメッセージを送りました。憲法尊重擁護義務を負う内閣総理大臣が、期限を切って「改憲」を宣言するなど、それ自体が重大な憲法違反です。許されません。

さらに、安倍首相は、国会の憲法審査会の論議も無視して、改憲の内容にまで踏み込みました。憲法9条に新たに3項をつくり、自衛隊を「海外で武力行使をする」存在として書きこもうとしています。これでは、9条1項・2項が死文化してしまいます。

主権者は私たち 政治は変えられる！

安倍政権の「政治の私物化」、「憲法の私物化」は目に余ります。これでは、まるで独裁政治です。

主権者は私たち市民です。市民の声に後押しされて、野党4党（民進党・日本共産党・社民党・自由党）は、安保法制廃止と立憲主義回復で一致し、安倍政権打倒をめざし、選挙協力をすすめています。「安倍政権のもとでの憲法9条の改悪に反対する」ことも野党合意で確認しました。

「アベ政治を許さない」——市民の声、主権者の声で政治を動かしましょう。